

△産業宣教 必ず成就される契約の中にある産業人-絶対やぐら(使 2:9-11)	△レムナント伝道学 初代教会で準備されたレムナント(使 17:1-9)	△核心/散らされた弟子たち 新しい時代を始める弟子たち(使 2:1)/ 残る者(イザ 6:13, 使 17:1-3)
<p>□序論</p> <p>1. 崩れるやぐら-再建築</p> <p>私たちは、ほとんど崩れるやぐらを持っている。正しくなされたやぐらの鍵は 300% になったやぐらだ。</p> <p>1) 専門性</p> <p>2) システム(講壇、病人、家庭、RT、職場)これが、いちばん重要な鍵(key)だ。現場にいる人を信仰水準と関係なく、システムに作らなければならぬ。講壇メッセージをそのまま伝え、病気になった者だけが来る人、崩れた家庭を見つけて、レムナント、子どもたちを見つけて、職場の人を招いたり入って行って伝道する人などを責任をもって自ら起きるようになさなければならない。</p> <p>3) 現場性(準備)相手が知って来るように</p> <p>2. 絶対主権 - 絶対答え 初代教会の人々は絶対主権と絶対答えの中に見つけた。それゆえ、各自の絶対主権は神様にあるので、絶対答えを見つけたのが鍵(key)だ。</p> <p>1) 復活メッセージ 2) オリーブ山の最後の講壇メッセージ</p> <p>3) まことの教会のマルコの屋上の部屋のメッセージ</p> <p>4) 世界宣教メッセージを持っている。</p> <p>迫害、死、人々の攻撃、関係ない。神様の絶対契約を止めることはできない。</p> <p>3. 絶対やぐらをどのように建てるのか</p> <p>1) 使 13:1-4 聖霊が言われる場所、人、できごと。完ぺきな答えを受けて伝道を始め、使 13:5-12 のできごと、使 13:12 総督セルギウス・パウロが本当の弟子になった</p> <p>2) 使 16:6-10 マケドニアへ。使 16:11-15 リディアに会って、使 16:16-18 悪霊につかれた者を癒やし、使 16:19-40 監獄で驚くことがまた起こった。</p> <p>3) 使 19:1-7 が準備されると使 19:8-20 ティラノに働きが起こった。使 19:21 ローマも見なければならない。</p> <p>□本論</p> <p>1. 神様のやぐら</p> <p>1) ヨハ 19:30 カルバリの丘の契約 2) 使 1:1-8 オリーブ山の契約</p> <p>3) 使 2:1-47 いやいよ五旬節の日になって。</p> <p>だれが止めるだろうか。これが神様のやぐらだ。皆さんの関心がどこにあるのか。それがやぐらだ。</p> <p>2. 絶対やぐら - 産業人</p> <p>1) 使 2:1-4 神様が初めから約束されたことが成された</p> <p>2) 使 2:9-11 15 か国のシステムが立った 3) 使 2:43-45 献金</p> <p>3. 神様が成し遂げられるやぐら</p> <p>1) 多民族宣教の門が開いた 2) アンティオキアで多民族宣教が始まる</p> <p>3) パウロは全世界にやぐらを建てた</p> <p>□結論</p> <p>1. 教会と産業、伝道現場に人が来るようにさせなさい。それがプラットフォームだ。</p> <p>2. 来たら癒やされるようにしなさい。それを見張り台と言う。</p> <p>3. 自ら起きて講壇メッセージ握って立ち上がるようにさせなければならない。アンテナだ。</p>	<p>□序論</p> <p>パウロは最初の伝道運動が大きく起こってから会堂に入った。初代教会で準備されたレムナント運動だ。</p> <p>□本論</p> <p>1. 規定「いつものように(規定)」ということは、祈りに対する計画があったということだ。</p> <p>1) 絶対施設(会堂)現場にある会堂だった。</p> <p>2) 絶対弟子(ヤソン)現場にいる絶対弟子、ヤソンだった。</p> <p>3) 絶対やぐら(ギリシア人、貴婦人)現場にいる反対者に勝つことができる絶対やぐら、ギリシア人、貴婦人だった。だれも止めることはできない。</p> <p>2. 伝えられたこと</p> <p>1) 時刻表(使 17:1-3)レムナントには最も重要なのが時刻表だ。これは、レムナントとすべての人に必要なことだ。いくら立派な人も時刻表をのがしてしまてはいけない。パウロが重要に見たのだ。</p> <p>2) キリスト-当為性 キリストでなければならない当為性を話した。どんな理論、律法、宗教でもすべてできない。</p> <p>3) 弟子-当為性 とても重要な弟子にキリストの当為性を伝達したのだ。</p> <p>3. 絶対やぐらの答え</p> <p>1) I テサ 1:3 信仰、望み、愛。信じれば働きが起こり、必ず望みが確実であれば、どんなことも耐えることができる。そして、本当に愛するならば労苦することができる。</p> <p>2) I テサ 1:5 私たちが聖霊と力と強い確信を持てば答えを受け。6 日だけ口を閉じたがエリコ崩れた。オリーブ山で 40 日間、神様のみことばだけ握ったが、世界が変化した。</p> <p>3) I テサ 1:7(モデル)すべての地域の模範になった。私たちがモデルになって答えられれば、人々が来るようになって、その人も生きる。レムナントは世界を生かすモデルになってキリストの力を知るモデル、祈りが何か知るモデルだ。</p> <p>□結論 24・25・00</p> <p>この中に私たちのレムナントが 24 して待つのだ。すると、25 になって、勉強は永遠の作品を残そうとすることだ。聖日にメッセージを握って深い祈りだけすれば働きが起こる。24 祈りが分からない人は信仰生活が難しい。私たちは、仕事に縛られて、人に関することに縛られて本当のことをのがす。パウロは 24 したが、世界変化が起こった。24 するということは、パウロはただ一度も人の話につまずいたことがない。</p>	<p>伝道運動が起こらないわざわざいを止めなければならない。それゆえ、RTS は伝道者を作りなさい。教会を生かしなさい。絶対やぐらだけ建てると考えなさい。十か所だけ死んでいくところを見つけてみなさい。私がどこに絶対やぐらを建てるかを祈りで描いてみなさい。伝道しなさい。神様の願いはそれしかない。死んでいくたましいが待っている。</p> <p>□序論_目に見えないやぐらから建てなさい</p> <p>1. ヨハ 19:30、使 1:3、使 1:8 カルバリの丘ですべての問題解決、神の国のことを説明、力を与えると約束された。</p> <p>2. 祈りの中で 7 つのやぐらが建てられ、7 大旅程、CVDIP に行くようになる。</p> <p>3. 3000 弟子、5000 弟子-絶対やぐらをいくつかだけ作っても、このようになる。</p> <p>4. 使 13:1-4、16:6-10、19:1-7 どんな事しても、門がふさがったとき、ティラノに行く前に、聖霊に満たされるやぐらから作った。</p> <p>5. 使 16:15、17:6、18:1-4 神様が備えられた働き人-リディア、ヤソン、プリスカ夫婦</p> <p>6. ロマ 16:1-27 このような働き人が作られる。</p> <p>7. 237-5000 種族 人材の道のみことばによって準備しなければならない。</p> <p>△伝道運動が途絶えれば未来がすべて途絶える。RTS と RU で伝道運動を正しく起こしてこそ世界を生かす。</p> <p>□本論_正しいやぐらを建てる方法</p> <p>1. 変えること</p> <p>まことの幸い、神の国を成し遂げることが祈り、兄弟と和解してから来て礼拝しなさい。あなたの目にある梁から取り除きなさい。礼拝は神様の前にすることだ。</p> <p>天国-天国、福音、伝道が何か分かるのか</p> <p>キリスト-サタンに勝った王、わざわざいを止める祭司、神様に会う道を説明する預言者。この職務を私たちに与えてくださった。</p> <p>斐利山でモーセも、エリヤでもなくて、私たちの答えはキリストだという答えを与えられた。</p> <p>2. 残りのこと</p> <p>1) マタ 28:16-20 世界福音化がどれくらい具体的に私の祈りの中にあるかが、すべてを左右する。</p> <p>2) 使 1:1-8(神の国)-待てば良い。</p> <p>3) 使 2:1-47(未来)-聖霊の力によってだが、未来が見えるのだ。</p> <p>3. 挑戦すること</p> <p>1) 使 11:19、12:1-25 患難、死が来たのに何も関係ない弟子。その日の夜に祈って驚く力が臨んだ。</p> <p>2) 使 13:1-4 聖霊の導きを受ける宣教が始まる。</p> <p>3) 使 16:6-10、19:21 マケドニアに、ローマに</p> <p>□結論 [散らされた弟子たち]残る者(イザ 6:13, 使 17:1-3)</p> <p>残りの者-本当に福音を持っていけば残りの者だ。 力-残る者の鍵。</p> <p>1. 上から与えられる力は御座だ。味わいなさい。世界福音化する弟子には最も実際的な話だ。</p> <p>2. 人を生かす伝道の力、絶対やぐらを建てる力が生まれる。</p> <p>3. 持続する力、癒やに行く所に正しいみことば運動を行えば、癒やされる働きが起こる。</p>

△区域メッセージ (第 38 週) 神様の疎通と 25 の答え (ピリ 1:10)	△聖日 1 部礼拝 問題を見る目 (ピリ 1:3-14)	△聖日 2 部礼拝 / 237 宣教会献身礼拝 苦難を見る目 (ピリ 2:1-12)
<p>私たちが持っている祝福の中で最も大きなことが神様との疎通だ。これを分かるとき、25 の答えを味わうようになる。</p> <p>□序論_流れ</p> <p>実際に現場に行って流れを変えるということは大変だ。ところが、聖書や歴史を見れば、エジプトでヨケベデ、ペリシテ時代にハンナ 1 人がこの流れを変えた。彼らは神様との疎通を味わっていた。</p> <p>1. 世の中はほとんど肉に従って行きつつある。私たちも力がなければ肉に従っていきしかない。</p> <p>2. 教会も律法の流れに従って行って戦う。律法の目的も愛なのに、これを逃している。</p> <p>3. 私たち自身も、ともすると私の考えのとおり生きていたために、創 3・6・11 章の流れに従って行く。</p> <p>□本論</p> <p>流れを変えること 9 つある。その中の三つが「広さ、高さ、深さ」だ。これは「情報」だ。</p> <p>1. 広さ-時空超越</p> <p>だれも分からない神様との疎通によって、時空超越する広さを持っていなければならない。時空超越する答えは人が止めることができない。</p> <p>2. 高さ-最も良いこと (大切なこと)</p> <p>1) とても非常識なら難しくなる。</p> <p>2) 多くの人が常識の線で生きていく。</p> <p>3) 常識以上のことを見れば神様のことが見える。</p> <p>直ちにくやしい目にあってヨセフが自殺したとすれば常識以下で、私が必ず生きて兄たちに復讐するというのは常識だ。「兄たちが私を売ったのではなく、神様が世界福音化の計画を成し遂げようと私を送られたのだ」と考えることが常識以上だ。いつもこれを発見すれば、すべての流れを変える答えが来る。</p> <p>3. 深さ-神様の計画</p> <p>1) 祈りがうまくできないとき、神様の絶対計画が何かを見るのだ。</p> <p>2) 神様の絶対時刻表を見るのだ。</p> <p>3) 他人の人を生かす時刻表が来る。このときから証人になって、働きが起る。</p> <p>□結論</p> <p>神様と霊的疎通が起れば 12 のサタン の戦略から完全に解放される。少し難しいようでも、祈るようになれば神様の計画が見える。</p> <p>W・I・O 神様が私とともに、インマヌエルで私たちとともに、すべてのこととおられることを発見する。</p> <p>学業、産業に、ただの答え、唯一性の時刻表、再創造の答えが来る。</p> <p>1. 多くの本を読んでみれば、何かがあるのが見えるが、それが編集だ。</p> <p>2. ところで、本当に祈ると、本でなくみことばが見える。これを神様の計画を悟った設計と言う。</p> <p>3. この答えが出てくると現場が見える。これをデザインと言う。</p> <p>△落胆せずに、今から挑戦しなさい。空いている時間に深い祈りの中に入りなさい。</p>	<p>□序論_問題を見る目 (神様が最も問題として見ておられる部分を見ること)</p> <p>1. 問題でないことを問題としてはいけな。</p> <p>1) 貧しさ、病氣、無能-本(考えが変わる編集)、みことば(答え)、伝道</p> <p>2) 問題でなく土台 3) 祈りの答えを受ける機会</p> <p>4) 迫害を最高の機会として見た初代教会</p> <p>2. 信仰生活で最も重要なのは、まことの問題と偽の問題を分別すること</p> <p>3. 上告するパウロ-ローマ皇帝の前に行って福音を伝えることが問題ないということ</p> <p>□本論_本当の問題</p> <p>1. 近づくイスラエルのわざわいと次世代の問題-家系と次世代の本当の問題を知って答えを持ちなさい</p> <p>1) 迫害のとき、真の弟子が区別される</p> <p>2) ユダヤ人が福音を受けてこそ散らされても生きるため、これを準備しにローマに行くパウロ</p> <p>3) 皆さんの今日の祈りで次世代と国が生かされる。伝道運動する牧会者を作り出すべき。</p> <p>RTS と RU を建てた理由-アメリカ教会、ヨーロッパ教会がみな門を閉めて、韓国教会 60-70%が未自立教会、その中に 30-40%が何人も集まらない状態だ。伝道運動する牧会者を作り出すべき。</p> <p>2. ピリピ-皆さんがいる現場の本当の問題を知って答えを持ちなさい。</p> <p>1) 神様が伝道の門をみな防いでパウロを導かれたマケドニア、リディアに会ったところ</p> <p>2) 商業中心地、アレクサンドロスの父親がたてた都市、ヨーロッパとアジアをつなぐ高速道路が作られた所、シーザーが人物と会議した所、ピリピの人にローマ国籍を付与</p> <p>3) ピリピが福音化されなければならず、ローマ皇帝に上告するパウロ</p> <p>3. ローマ-237 か国を滅亡させる強大国の本当の問題を知って答えを持ちなさい</p> <p>1) 世界へ向かう道がローマにあるので、ローマに福音が宣べ伝えられなければならない。</p> <p>2) パウロが握った答え</p> <p>(1) ローマも見なければならぬ</p> <p>(2) 勇気を出しなさい。ローマでも証しをしなければならぬ。</p> <p>(3) 恐れることはありません。パウロよ。あなたは必ずカエサルの前に立ちます。</p> <p>3) 世々にわたって隠されていたこと、とこしえまであることを、今、与える。</p> <p>□結論_パウロの祈り</p> <p>1. 感謝と喜びで主のしもべと信徒のために 24 祈り (3-4 節)</p> <p>2. 理由</p> <p>1) 変わらずに福音のための働きをする祝福の中にいるため (5 節)</p> <p>2) 皆さんの中に救いを始められた方が完成させてくださるため (6 節)</p> <p>3) 主のしもべの心にある者、恵みに参加した者 (7 節)</p> <p>4) 私たちの祈りの証人は神様 (8 節)</p> <p>3. 見分けること (9-10 節) -大切なことを見分ける、神様の大きな計画を見なさい。</p> <p>4. 挑戦すること (12-14 節) -本当の問題に挑戦</p>	<p>問題でないことを問題として見て、本当の問題を見られないのは失敗だ (ピリ 1 章)。中世時代の巡礼者の祈りの中から 24 が出た。24、呼吸して祈ればすべての環境を忘れる。霊的な力、免疫力ができるので、巡礼者の道が大変ではない。私の考えもなくなって、みことばだけ握るようになる。このとき、神様の知恵、力が出てくるようになる。巡礼者は、残りの者、征服者なので 24 祈ったのだ。イエス様が息を吹きかけて、聖霊を受けなさい。神様が鼻にいのちの息を吹き込まれた。干からびた骨にいのちの息を吹き込みなさい。巡礼者の祈りを味わって 7 つのやぐらに祈りの中にいつも入れなさい。</p> <p>三位一体の神様はキリストの御名、みことばで働く神様、力で働く聖霊</p> <p>神の国(こと)が臨めば、時空超越する働きが起り、世界へ祈りが通じて 237 になる。</p> <p>創 1:27 私のいのちの中に創造の霊で、</p> <p>創 2:7 私のたましいの中にいのちの息で、</p> <p>創 2:18 私の生活の中に臨むこと</p> <p>私、教会、職業に空前絶後の答えが与えられる。</p> <p>過去は答えで、今日は重要な時刻表となる。未来</p> <p>エペ 2:2 空中の権威を持つ支配者を打ち砕く宇宙の答え</p> <p>5 力が私に臨む。</p> <p>あらかじめ CVDIP 見え始め</p> <p>3 庭</p> <p>□序論_苦難</p> <p>1. 縛られたところから解放させる苦難</p> <p>2. 最高を味わう(偽、本物が区別される苦難)</p> <p>3. 勝利を与えるための苦難</p> <p>□本論_イエス様の苦難</p> <p>1. 私たちに、その御名(権威)を与えられた苦難 (10 節)</p> <p>1) マタ 28:16-20 天と地の権威でいつもともに</p> <p>2) 使 1:3 40 日間、神の国のことを説明</p> <p>3) ピリ 3:21 万物を服従させる御名</p> <p>2. 人となって来て、その力(権能)を回復する苦難</p> <p>1) 神の御姿 (6 節) 2) しもべの姿 3) 十字架で証拠を見せられた。</p> <p>4) すべてのものがひざまずく御名</p> <p>5) すべての舌がキリストを主と告白</p> <p>3. 神様の方法である世界のわざわいを止める弟子を生かすための苦難</p> <p>1) わざわい止める弟子。強大国にわざわいが臨んでいるので、はやく行って福音を伝えなさい。</p> <p>2) 唯一の道を与える真の祭司、預言者、王、この 3 職を味わう弟子</p> <p>3) 皆さんはキリストの大使-キリストは油を注がれた者。サタンを倒したまことの王、わざわいを止めるまことの祭司、神様に会う道を開かれたまことの預言者</p> <p>□結論_ 24 になるのがやぐら。 25 の答えを待つ。 00 なことを残すことが目標</p> <p>1. 237 やぐら-どこの国が私のやぐらなのか。</p> <p>2. 教会の中で三つの庭の私のやぐらは何か</p> <p>3. 産業のやぐら-祈りで建てること</p> <p>4. 学業やぐら-レムナント</p>